

議 事 録

会議名	平成 26 年度定時常任幹事会		
No.		文責	岸田、
開催日時	平成 26 年 6 月 22 日（日）14:00～16:40	開催場所	飯島同窓会館会議室
出席者 【敬称略】	1期 野村寛治、浜野喜代子 2期 榎本奎介 5期 山本眞 7期 丸山勝彦 12期 小川忠夫 14期 宮入宗人 15期 荒井耕一郎 16期 川上純二 17期 大久保恒夫 18期 関俊夫、中谷和夫、中久保慎一、柳本婁美、岸田れい子 20期 川田紀雄、北島郁代、 高木織江 24期 柳谷一郎、 25期 鴨下隆一、神田薫、米倉由布子、内村真理子、宮下真美 黒川千恵子、26期 岩本佳久 27期 富士森みつ 30期 湊信明、野久尾悟、丸森康平、 根本学		
会議の目的	<p>報告事項</p> <p>第 4 期（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）事業報告の件</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 第 4 期（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）計算書類の件</p> <p>(2) 第 5 期予算案の件</p> <p>(3) 理事・監事改選の件</p> <p>(4) 同窓会費私的流用事件調査委員会概要の件</p> <p>(5) その他の審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 70 周年記念事業について ・ 第 5 期活動予定について 		
内容			
<p>会議の開催に先立ち、理事長 7 期丸山勝彦氏より挨拶があり、今回の理事・監事改選を機に理事長を退任する旨発言があった。</p> <p>その後、常任幹事会議長 5 期山本眞氏により平成 26 年度 定時常任幹事会の開催が宣言され、事務局より常任幹事 109 名のうち、出席者 31 名、委任状 36 によりこの常任幹事会が成立していることが報告された。</p> <p>議事</p> <p>報告事項</p> <p>資料⑧に沿って、第 4 期（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）の事業報告がなされ、了承された。</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 第 4 期（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）計算書類の件</p> <p>添付資料④、⑤、⑥の第 4 期計算書類について、下記を含む説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収支計算書の会報製作費が 62,368 円増えたのは、会報を送付する人数が見込みより増えたためである ・ 貸借対照表の貯蔵品は 60 周年記念で制作した DVD と封筒の在庫である。 <p>(2) 第 5 期予算案の件</p> <p>添付資料⑨の第 5 期の予算案について、下記を含む説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若竹会への寄付を 70 万円としたのは、会報を受け取った会員からの寄付が 100 万円以上あったためである。 			

母校に対してはこの増額は第5期に限ったことであることを説明する。

- ・会報製作費が第4期に比べ増えているが、第5期は会報送付の対象期を増やす予定であるため。(第4期は製作期間や予算の関係で、第1期～17期同窓生までが会報送付の対象であった。)
- ・寄付をくださった方でDVDを持っていない方にDVDを送る予定であるが、この際の送料を事務局運営費予算に計上した。

この後、監事30期丸森康平氏より、第4期計算書類は監査の結果適正である旨、報告がなされた。質疑応答の後、第4期計算書類及び第5期予算は満場一致で承認された。

(3) 理事・監事改選の件

資料⑩に基づき次期の理事・監事が推薦され、審議の結果、満場一致で承認された。

なお資料に記載された担当業務は正式には常任幹事会後に開催される理事会にて決定される予定である。

(4) 同窓会費私的流用事件調査委員会概要報告

同窓会費私的流用事件調査委員会委員長荒井耕一郎氏より、平成25年12月15日に開催された理事会で報告・承認された調査委員会報告の概要、即ち、

- ・高橋隆男氏が1997年当時行った私的流用金に関する事実関係の調査を、現状で考えられる限り詳細に行ったが、凡そ400万円とみられる私的流用金については、依然所在が不明である高橋氏の所在が判明した場合は返還交渉を行うが、未収の流用金は現在の同窓会会計の資産には計上しない。
- ・任意団体当時の同窓会役員等への賠償請求は行わない。
- ・調査結果報告書は同窓会事務局に備置し、常任幹事の請求があれば閲覧に応じる。

との説明がなされ、承認された。

(5) その他の審議事項

・70周年記念事業

2017年の70周年記念事業は母校主催で行われる。母校から同窓会への要請事項を十分踏まえ、母校の意向に沿った内容にしていくことが確認了承された。

・第5期活動予定

資料⑨の第5期の活動計画について説明がなされ、了承された。

以上
